

平成30年度第1回陸別町総合教育会議 次第

- 1 総合教育会議開催日時 平成31年1月23日 午後2時30分～
- 2 会 場 陸別町役場 委員会室
- 3 出 席 者 陸 別 町 長 野 尻 秀 隆
陸別町教育委員会
委 員 石 橋 勉
委 員 西 岡 愛 則
委 員 小 木 育 子
教 育 長 野 下 純 一
- 4 出 席 説 明 員 陸別町教育委員会（事務局）
次 長 有 田 勝 彦
主 幹 瀧 口 和 雄
主 幹 津 幡 恵 一（給食センター所長）
主任主査 北 村 正 利（社会教育担当）
主任主査 遠 藤 克 博（社会体育担当）
主 査 大 鳥 居 仁（社会教育担当）
- 5 協議事項結果

協議事項（1） 第6期陸別町総合計画策定に向けて
（第5期陸別町総合計画施策評価）
（2） その他
- 6 審議経過 次のとおり

有田次長	ただいまから、平成30年度第1回陸別町総合教育会議を開催します。 はじめに、野尻町長からご挨拶申し上げます。
野尻町長	平成30年度第1回陸別町総合教育会議を開催するにあたり、ご挨拶申し上げます。 平成29年度第1回総合教育会議では、学校教育における小中一貫教育推進事業、また「第8期社会教育計画」に係る将来展望とか、いろいろなご意見いただきました。それぞれ各種取組を進めているところであります。 本日は、決定を行うものはございませんが、陸別町が現在取り組んでいる「第5期陸別町総合計画」は、平成31年度が最終年度となります。 平成32年度から始まります「第6期陸別町総合計画」の策定に向けて現状の課題と成果や当面の対応と将来の夢など含め意見を出し合っていたらと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
有田次長	それでは議事に入りたいと思います。ここからの進行は、野尻町長にお願いします。
野尻町長	それでは、協議事項(1)第6期陸別町総合計画策定に向けて、事務局より説明をさせていただきます。なお、項目が多いので、ページを区切ってご意見をいただきたいと思います。
有田次長	それでは、①地域における子育て支援の充実について、別紙評価シート1ページ～2ページをご参照下さい。 ここについては、「笑顔あふれる幸せづくり」という大きな基本目標がありますが、施策小分類で「地域における子育て支援の充実」、主な施策として「①子育て支援の充実」であります。1頁の部分については、陸別町も平成27年度から給食を実施しておりますが、平成27年度運営当初から給食費の全額助成を行い、保護者負担なしで行っているということで、これについては町全体の予算の確保も必要であります。今後もこのまま長期に継続していきたいという内容であります。 2頁の部分におきましては、同じ子育て支援の部分でありますけども、放課後児童対策ということで、学童保育所を開設しております。1年生から6年生までの受入ということでありますけども、現状の課題としては、学童保育の指導員の確保がなかなか今現在難しいということで、教育委員会職員も指導員として協力しているというのが現状であります。指導員体制の整備を推進して、安定的な学童運営が維持できるよう努めていきたいということであります。これで説明を終わらせていただきます。
野尻町長	それでは、説明が終わりましたので、これより質疑・意見をお受けしたいと思います。質疑・意見はありませんか。
石橋委員	給食費の関係ですが、保育所も含めて全額助成ということで保護者も大変助かっていると思います。これを行うことによって、何かの都合で陸別に帰りたいた

	<p>なと思っている人も、この制度があれば、より帰りやすいと思いますので、このまま、是非、継続して行って欲しいと思います。</p>
野尻町長	<p>そのほか、あとありませんか。 （「なし」）</p>
小木委員	<p>学童保育は、共働き夫婦の子どもを預かっているという訳ではないのですか。</p>
野尻町長	<p>担当から説明してください。</p>
北村主任主査	<p>共働き夫婦の子どもを預かっています。ただ、そればかりではなくて例えば一時的に母親が病気で通院入院しなければならないということで、家に帰ったときに両親がいなくて保護しなければならない状況が続く状態になっているときに学童保育所というのを利用いただけます。</p>
小木委員	<p>ほとんどは、共働きですか。</p>
北村主任主査	<p>ほとんどが、共働きです。</p>
野尻町長	<p>ほか、あとありませんか。</p>
西岡委員	<p>給食費の無償化について、逆行する意見かもしれないのけど、全額払ってもらっているということで、ちょっと言いたいことがあっても遠慮して言えないのではないかという、給食に対するPTAの意見。ちょっとでも負担していれば、文句も言いやすい意見も聞いたことがあるので、その辺どうなのか。 完全無償化がいいのか、私も最初、絶対全無償化いいと思っていたのですが、そういう苦情とか、最近美味しいというかあまりいないと思うけど、PTAの方から文句が言いづらいのかなという、完全無償化だからそういう面もあるのかなという気もする。</p>
野尻町長	<p>それについてどうこうということではなくていいですから何か気のついたことがあれば、確かにお話を伺えば、そういう意見もあるのかなという気もするのですが、そういう意見を出していただけるような雰囲気づくりをしていくということが大事だと思います。</p>
西岡委員	<p>アンケートもとっているようですから、結構自由な意見も出てきているよね。</p>
津幡主幹	<p>そうですね。1回目一番最初にとったときと、2回目とったときでは、大分変わりました、予算も賄い材料費のほうで確保して他町と変わらないぐらいな感じを出せるようにしております。前回のアンケートではまあまあに意見をいただいております。また、年2回運営委員会も開催しておりますので、そこで校長、養護教諭も入られておりますのでこの辺で意見もいただいております。こういう中で進めております。</p>

西岡委員	意見を、細かな意見でもいいから拾いやすい状況になっていればいいと思うだけれど。
野尻町長	はい、わかりました。その他ありませんか。 それでは、次の項目をお願いします。
有田次長	<p>それでは、②支えあうまちづくり及び③情報ネットワークの整備について、別紙評価シート3ページ～4ページをご参照下さい。</p> <p>3ページです。支えあう町づくり、地域福祉推進体制の充実というところですが、生涯学習の中のボランティア活動の関係であります。</p> <p>現状と課題ですが、学校教育では、中学校の部活動の位置づけで、ボランティア部の活動として幼児・高齢者・社会福祉施設入所者との交流活動などが行われていますが、実質、部活動の自主性に任せているところがあります。</p> <p>今後の取組ですが、学校教育に対してどのような福祉教育の充実や人材育成を求めていくかという取組が今後の課題になるのかなという認識を持っております。</p> <p>続きまして4ページであります。ここでは、高度情報化への対応、インターネットの適正利用のための教育の充実であります。</p> <p>これは、小・中学校におけるインターネットの安全な利用に対する教育を図っていこうということではありますが、小・中学校それぞれパソコン教室があり、インターネットを活用できる環境が出来ております。</p> <p>今後の取組としては、ウィンドウズ7というサポートが、来年、2020年1月14日でOSのサポートが切れるということでもあります。今現在、平成31年度予算に校務用の職員室及び児童生徒用のパソコン機器等の更新予算を計上しているところです。ただ、両校あわせて約3千万円近い経費がかかるということで、これが全額通るか見通しが厳しい情勢ではあります。この辺の整備を通じて今後の子どもたちの教育に講じていきたいと考えています。以上であります。</p>
野尻町長	<p>最初の支えあう町づくりの福祉の充実、人材の育成。それと今の時代ですので情報ネットワーク、インターネット関連、今、ちょうど査定をやっているところでたくさんの予算が上がってきて、ちょっと心臓びっくりしているところですが、なんとか子どもたちの教育に関することですので付けたいと努力はしているところですが、みなさんのご意見があれば出していただきたい思います。</p> <p>ありませんか。</p>
石橋委員	中学校の部活はいろいろあるの。あれには何か予算が付いているの。
瀧口主幹	私の方からお答えします。中学校の部活動に関する交付金とうものを持っています。30年度でいきますと、約80万円のお金を使えるように付けております。これは毎年であります。
石橋委員	それは、いろいろな部活あわせて80万円ですか。

瀧口主幹	はい、そういうことです。
石橋委員	<p>それで、8年か9年前に、孫が中学校のときにボランティア部に入っていて活動していたのですが、ちょうど女房から、お金がないからやれる範囲が決まっているんだということを聞いて、支援したことがある。</p> <p>やはりボランティア部でも多少の予算がなかったら、自分の思ったような奉仕というか目的目標に向かったの支障があるのかなと思ったことがある。</p> <p>多少ともやれるものならやって欲しい。</p>
瀧口主幹	<p>今、申しあげました中体連事業の部活動に使用する金額は、一定程度約80万円ありますが、運動部の方は限られておりますので、そこでボランティア部も絡めまして、幾ばくかでありますけど、その中から使用してということで今のところ学校では運営しております。</p>
野尻町長	あとありませんか。
小木委員	<p>学校行事としてのボランティアというのはないのですか。ボランティア部だけの活動ということで、学校全体で、例えば福祉施設に行ってみるとかそういうのははないのですか。</p>
瀧口主幹	<p>学校全体の活動となりますので、学校教育活動となりますので、そういうことはないと把握しています。あくまで通常の授業時間が終わったあとの部活動の一貫として一つの文化部のなかにボランティア部がありまして、そこで独自の自主活動をしているということであります。</p>
野尻町長	そのほか、ありあせんか。
西岡委員	パソコンの更新、予算お願いします。
野尻町長	<p>そこも、便利で今は無くして考えられない。庁舎の中もそうなんですけれど、機械ばかりでなく、ソフトの交換だのこれは続いていくことだと思いますので、補助とか効率のいいもの見つけてなんとかしたいなと考えています。</p>
野尻町長	<p>そのほか、ありあせんか。これに関してはよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の項目をお願いします。</p>
有田次長	<p>④生涯学習の推進についての内、5ページ1)生涯学習推進体制づくりから、2)生涯学習活動の充実の8ページまで説明します。</p> <p>シート5ページであります。生涯学習推進体制づくりというところがあります。</p> <p>今、現在公民館を活動拠点としながら文化協会加盟団体等が活動しているところがありますが、この加盟団体等が公民館講座等を実施しているというところがあります。ただ、残念なことに現状でいうと少子高齢化だとか青年層の文化団体</p>

	<p>離れ等がありまして、なかなか好転する環境が望めないというところで、今後の町内での活動の活発化、それから地域外から講師を呼んで、内部の活性化を求めるといふ部分をいろいろ検討していかなければならないのかと思っています。</p> <p>次、6ページです。生涯学習活動の充実ということですが、これは、町民の自主的な学習活動を支援するということが主な取組の内容となっております。</p> <p>社会教育では、文化団体であるとかPTA活動とか、関寛斎顕彰活動であるとか、これらの事業補助や活動支援を行っておりまして、町民の自主的な学習活動を支援しているところでもありますけれども、引き続き支援をしていきたいと感じているところです。</p> <p>7ページのところで、同じく生涯学習活動の充実ですが、町民が求めている学習メニューの充実というところであります。毎年同じメニューが続いているという部分がありますが、少しずつではあります、町民ニーズの把握をしながらいろんな取組をしていきたいと考えております。</p> <p>続いて、8ページになります。こちら生涯学習活動の充実であります、町民に対して、ホームページや広報紙を通じて生涯学習に関する情報の提供というところですが、今までは広報紙とか紙媒体が多かったわけですが、ホームページを少しずつ活用の幅を広げているのかなという部分があります。</p> <p>ただ町民のみなさん高齢者が多いという状況がありますのでこの辺の周知の方法については、また、今現在、何をどのようにできるのかということでもありますので、現状やっているものをより発展的に進めていければいいのかなと思っています。今後、質の向上にも努めていきたいと感じているところです。以上です。</p>
野尻町長	<p>それでは、説明が終わりましたので、これより質疑や意見をお受けしたいと思います。質疑・意見はありませんか。</p>
小木委員	<p>公民館講座とかそういうのでお年寄りにタブレットを渡して、とりあえず陸別町のホームページを見ることをやってみるとか、そういうことはできないものですか。</p>
野尻町長	<p>それに関してなにかありませんか。</p>
北村主任主査	<p>タブレットに関しては、今のところ社会教育のほうでは用意はしていません。来年度、予定しているのはパソコンの基本講座ということで、町民に、ニーズが高いということでそれは計画しております。</p>
野下教育長	<p>ちょっと総体的になるのですが、公民館の施設は建築年数も経っているのですが、それと前回の総合教育会議のなかでも宿泊研修施設の検討ということで話題にでていました。それからユクエピラチャシを整備するときに郷土の歴史を知っていくうえでの拠点施設というところが、町内の既存施設で補っていくということで多目的に利用されている部分があります。もうひとつは、事業として検討がなかなか進んでいないのですけれども、将来担っていく子どもたちが少なくなっていく部分、それから町の人口を将来確保していくということを踏まえても、国内留学制度ということも踏まえながら、それと働く場所を確保すると同時に教育</p>

	<p>の充実も図っていくという総合的な目的を持った生涯学習施設といったものを視野に入れて10年後の陸別町の総合交流施設というふうなことを大きく掲げてそこから検討をしてはどうかと思っています。既存の施設のそれぞれの目的をもっと総合的に捉え直して拠点化していくということを、第6期総合計画の中で、文化系の施設をもう一度見直していくということが、公民館の充実ということのひとつのポイントにして考え直してみてもどうかと提案したいと思います。</p>
野尻町長	<p>いかがでしょうか。今、教育長から話しがあったわけですが、陸別町の施設、教育系だけでなく、殆どの施設が老朽化してきているという確かに現状があります。そして、当時のそれぞれの建物の必要性があって出来てきたものと思います。時代もある程度年数も経っていろんなことで利用度という要素も含めて考えていかなければならないということが私も同じ考えをもっているところなんです、そこらに関してみなさんいかがでしょうか。</p>
西岡委員	<p>お金もかかるでしょうけれども、総合的な公民館的ないろんな意見交換もできるようなそんな施設があったらいいなと思います。</p>
石橋委員	<p>早かったら早いほどいいんだけど、グレードの高いものを作ったほうがいいからもうちょっと計画をがっちり作って、それから3年後、4年後、これを機会にいいものを作ったほうがいいのかなという感じがします。</p>
野尻町長	<p>人口減少、人口増の問題で私も頭を悩ましていますが、それでもそれぞれみなさん、いろいろそれぞれの思いというものがあるって、そういう意見を吸収して反映させるようにというみなさんの意見だと思っています。大事なことだと思います。そのほかありませんか。</p> <p>(「なし」)</p> <p>それでは、次の項目をお願いします。</p>
有田次長	<p>それでは、④生涯学習の推進についての内、3) 指導体制の充実、4) 生涯学習施設の充実、5) 社会教育の充実について、別紙評価シート9ページ～11ページをご参照下さい。</p> <p>9ページですが、生涯学習の推進、指導体制の充実ということになります。</p> <p>ここにつきましては、現状と課題では、地域人材の不足により、広域での講師の確保が必要であるということではありますが、今現在、小・中学校におきまして、年度別の計画を載せてありますが、学校支援地域本部事業と土曜授業推進事業という事業を行っています。学校支援地域本部事業については、平日の外部講師による小・中学校の授業。例えば、スケートの授業であるとか、水泳の授業であるとかなかなか苦手な先生の部分を外部から講師を呼んでサポートするということとあります。もうひとつは土曜授業における外部講師による小・中学校の授業ということとありますけど、先日、町長の方からも講師をしていただきありがとうございました。外部からの幅広い内容を通じて子どもたちの能力を高めるという内容とあります。</p> <p>10ページではありますが、生涯学習施設の充実ということとあります。</p>

	<p>さきほど、教育長のほうからもありましたが、公民館については、見てのとおり の老朽化ということでありまして、現状のある施設の活性化すべきということ で具体的は、現状と課題の部分で、平成28年度から「リサイクル会」をした りだとか、平成30年度からは「図書特集コーナー」を組んだりとか、それから、 学童保育とか小学校で「らららタイム」をやっていますが、それとは別に、公民 館を活用した子どもの居場所事業として「りくキッズルーム」の実験的開催をし ているということ、まずは現状の施設で有効に活用するという活動して いるところです。</p> <p>11ページです。社会教育の充実です。これにつきましては、現在、第8期社 会教育計画、これが平成28年から平成32年までの取組ということで、この計 画によりまして、順次進めているということでありまして、今後の取組としては、 点検作業をしながら、学校を核とする地域づくりへの具体的な対応を検討してい きたいというふうに思っているところであります。以上です。</p>
野尻町長	<p>それでは、説明が終わりましたので、これより質疑・意見をお受けしたいと思 います。ありませんか。</p>
西岡委員	<p>土曜授業の子どもたちの反応はどうか。</p>
野尻町長	<p>他の授業は子どもたちからちらちら聞いていますが、確かにいろいろためにな ると思います。私の場合は、どうかという気はしますが、陸別の子もたちは真 剣に話しを聞いていただいている。いろいろなこと、ふれあえるだけでもためにな るのではないかと思います。</p> <p>ちょっと外れますが、この前も教育長と話しをしたのですが、私も中学3年生 に話しをするのですが、いつもすばらしい子どもたちばかりなんだけど、どうも 元気さがない、きかなさがない感じがするんです。これは、数が少ないから、保 育所からずうっと同じ感じにいるんで、話さなくても以心伝心で伝わる感じてい るんで、子どもたちが逆に、この前も話して感じたんですけど、やっぱり外圧が かかったとか、ちょっとしたいじめがあったときに果たして抵抗力があるのかな とという心配な感じがしました。</p> <p>いろんな方が土曜授業にきていただいているので、それはすごくためになっ ていると思います。</p> <p>委員会側からどうですか。</p>
北村主任主査	<p>私も外部講師が来るので行っていますが、アンケートとか取りますけど、生徒 の反応は非常にいいと思います。学校の先生でないというところに新鮮さを感じ ていると思います</p>
野尻町長	<p>あとありませんか。 （「なし」）</p>
野尻町長 有田次長	<p>それでは、次の項目をお願いします。 それでは、⑤学校教育の充実についての内、1) 学校教育の充実について、別紙</p>

評価シート12ページ～17ページをご参照下さい。

まず、12ページの部分です。学校教育の充実、地域の特色を活かした教育活動の推進ということですが、今現在、小学校の体験授業ですとか、中学校の職業体験事業を実施しているところではありますが、平成30年度から、中学校が陸別町内だけだった職場体験を北見市内にも広げて実施をしております。町内での受入態勢が厳しくなってきたということもありますが、逆に北見の職場体験で北見の職場から歓迎をされています。ようするに子どもたちへの教える、改めて基礎から自分達も見つめ直すという部分ができるのかなと思っていますが、結構いやがらず好意的にさせていただいて、子どもたちも多種多様な幅広い職場体験をできるということで大変いい感じかなと思っています。

続いて13ページです。児童生徒の個性に応じた教育の推進ということですが、子どもたちの個性や発達に合わせた教育の推進、これが大変重要になっていますが、陸別町的には、療育指導ですとか、スクールカウンセラーであるとかということで、町内の専門員、町外のスクールカウンセラー等を活用しながら実施をしているということで、また、子ども発達支援連絡会という保育所、小学校、中学校、学童保育、教育委員会が月に1回集まって会議しておりますが、子どもの特性に関して共通意識をもって情報交換している状況であります。

14ページです。14ページでは、特別支援教育の推進ということですが、地域療育センターや児童相談所、医療機関などとの連携を図るということですが、現状としては陸別町に子ども発達支援センターなどの専門機関がないということで、外部の人材に頼るということが大きいということになります。ただ、無いものねだりもできませんので、そういう活用をしながら随時町内の機関と連携しながら進めているという状況であります。

続きまして15ページであります。15ページでは、国際化に対応する人材の育成ということですが、これは、長年ラコーム市との友好関係の発展により、国際理解教育の充実を図るということで、今現在、英語指導助手を活用した授業を実施しているところであります。この英語指導助手もALTとして雇用をしておりますし、中学生の海外研修派遣事業も中学2年生を対象に毎年カナダへ派遣しておりますが、現状と課題として、この英語指導助手の町内での生活等の支援を行う人材として、直接的に言いますと教育委員会職員の北村が居ります。英会話もできて英語指導助手とも通常の日常会話もできますし、今、ラコーム市や海外との日程調整についても北村を中心に行っているところですが、年齢が今年57歳になり、数年後には定年ということになりますと、後継者が現在できていないということになりますので、職員の育成が急務かと思っています。

中学2年生のカナダ派遣事業についても、現在、希望者がいて任意であるということで、学校教育の課程に組み込んでいけないということが、なかなか厳しいのですが、どうしても個人負担10万円を強制的に保護者からいただくということにはなりません。たまたま冒険イン東京には、ほぼほぼ参加していただいておりますが、海外研修については経済的事情だけではなく長期間海外で生活しなければならない、10時間程度飛行機に乗らなければならないという不安感で参加されない生徒もいるところではありますが、現状としてはこの状況でいくしかないのかなと課題を持ちながら今後も進めていきたいと思っております。

なお、中学校からは、9月の研修をできれば夏休みか冬休みに変更できないか

	<p>という要望をいただいております。ようするに授業時数ができないということですが、これは、ラコム市側の受入体制を考えるとどうしても長期休業期間中は難しいということで、今後、可能な考えられることとすれば、今の日程を少し短縮して行わうかということも今後検討していかなければならないのかと思っております。</p> <p>次に16ページです。16ページにつきましては、地域活動への参加促進ということですが、今、職場体験は話しましたけど、今、小中一貫の絡みで「ふるさと科」ということで今後進めていく予定もありますが、ふるさと学習なども積極的に推進しているということで、地域参観日などの開催によりもう少し地域の皆さんが学校に足を運んでいただいて学校教育への理解を深めていただければいいなというところを今後進めていきたいと思っております。</p> <p>次に17ページです。17ページは、小・中学校の連携ということで学びの連続性や接続の円滑化を図りますということで、こちらにつきましては、平成31年度から取り組むこととしております小中一貫教育及びコミュニティ・スクールの本格実施に向けて取り組むということで、小・中学校の教職員の共通した理解が少しずつ深まっているということでありますけど、こちらについても、予算の関係もありますが、日々、毎年、研修の機会を十分とっていかなければならないと思っているところであります。以上です。</p>
野尻町長	<p>それでは、説明が終わりましたので、これより質疑・意見をお受けしたいと思います。質疑・意見はありませんか。</p>
石橋委員	<p>中学生の職場体験ですが、北見への職場体験はどういうところへ行っているのか教えてください。送り迎えはどうやっているのかも教えてください。</p>
瀧口主幹	<p>送り迎えにつきましては、町の支援をいただき、スクールバス若しくは小型のワゴン車対応ということで行っております。それで、各事業所がバラバラに点在しておりますので、なるべく2個所に分けるとか、3個所に分けるとかして生徒を降ろしまして、事業所に向かうと。その事業所で受け入れる生徒は1事業所1生徒ということで、ひとつの事業所に複数の生徒がいきますと生徒間同士のもたれ合いとか甘えがでてしまうので挨拶から教えてもらうことから全て一人で事業所の方と対応するというようなことをしております。</p> <p>それで職場体験は町内で1日、北見市で2日間ということでやっておりますが、今、記憶にありますのは、飲食店、ホテル、車の整備工場、車の販売店、北見市の図書館等々同じような業種であっても事業所を分けて実施をしていると、これは30年度から実施しております。</p>
野尻町長	<p>その他ありませんか。</p>
小木委員	<p>発達障害について、私の子どもは発達障害だったのですが、3歳児健診まで気がつかなかったとか、その前に発見できるということとかはあるのですか。</p> <p>その時に、児童相談所に行って療育センターに行って、そこから始まったのです。もっと早期発見できたら、変わりはしないのかもしれませんが、親としては</p>

野尻町長	<p>そういう思いもあります。</p> <p>保健センターも関係しますが、説明願います。</p>
瀧口主幹	<p>所管は保健センターでございますが、生まれてから母子手帳に書いてあるような準法令的な健診というか年齢発達段階に応じた健診はしております。ただ、どの発達段階で見つけることが可能かどうかということは、私も承知しておりませんが、学校の場合に置き換えて申し上げますと、今は発達検査をできる臨時職員がおりまして、町で雇用しているそういう方の活用、それから発達支援専門員と言われる方が北海道の指定職として北海道が認定するのでしょうか指定をするのでしょうかそういう職もありましてそういう方の活用で、具体的な専門的な知識を持っている方につなぐということができておりますのでそういう部分では教育相談ということで保護者の方から困り事があった場合は対応しているところでございます。</p> <p>保育所につきましても、教育委員会の所管ではございませんが、保育士が園児の様子を見ながら、必要があればそういった同じような機関につなぐ療育指導をできるような環境にはなっています。全て陸別町外の外部の方が主な頼りどころではあります。</p>
野尻町長	<p>そのほかありませんか。</p> <p>(「なし」)</p> <p>それでは、次の項目をお願いします。</p>
有田次長	<p>それでは、⑤学校教育の充実についての内、2)小・中学校の環境整備について、別紙評価シート18ページ～21ページをご参照下さい。</p> <p>18ページです。小・中学校の環境整備ということで、安全な学校施設整備として、この中では地域の非難所としての役割に十分配慮した施設整備に取り組みますということですが、昨年、ブラックアウトという経験もいたしました。ただ、現状として課題も出ていますが、中学校においてはWi-Fiの環境整備でありますとか、温水暖房機器の更新とか、臨時停電のときの発電機の確保とか、暖房対策の強化とかこの辺については、十分ところではありませんが、今後、対策が必要なのかどうかということも費用対効果を見ながら進めていかなければならないのかなと考えています。</p> <p>19ページです。先ほどもでしたが、小・中学校の環境整備ということで教材備品の整備ということであります。毎年予算の確保をしながら、教育環境に対応した教材備品の整備を進めているところでありますけど、現状と課題でありますけど、やはりコンピューター機器など多額の投資が必要ということであります。そのほか、学校図書の部分、その他の部分についても毎年予算を確保する中で充実させていくよう努力しているところであります。</p> <p>20ページです。20ページは危機管理体制や防犯システムなどの環境整備ということでセットにはしているところでありますけど、今現在、特に中学校部分では、今後、校長・教頭住宅の建て替えをしていくところですが、自動通報システムにつきましても、建て替えの際には携帯電話の通報に変えていくとかとい</p>

	<p>う部分を改正していくということになると思います。</p> <p>21ページの部分であります。こちらは教職員住宅の整備ということでありまして。お陰様で古い住宅を、毎年予算をつけていただき改築しているところでありますが、今年もD棟1棟2戸が出来上がりました。今後につきましては計画的な建て替えとなりますけど、平成31年度から3か年かけて残り3棟5戸を建てておおむね当初の予定の教職員住宅の改築が終わるのかと思います。現在、教職員、古い住宅も若干ありますが、なかなかそこに住んでもらうには厳しいかなという現状でありますので、あと数年、この建て替えが順調にいけば、教員もこちらのほうに来てもらえるのではないかと思います。以上です。</p>
野尻町長	<p>それでは、説明が終わりましたので、これより質疑・意見をお受けしたいと思っております。質疑・意見はありませんか。</p>
石橋委員	<p>20ページ。中学校の火災自動通報システムの更新の内容はどの程度の更新になるのかということと、小学校はどういう状態なのか教えてください。</p>
瀧口主幹	<p>20ページの現状と課題に関する質問ですが、陸別中学校の火災自動通報システムの更新。下陸別の教頭・校長住宅の建て替えに伴って、従来の対応している管理職住宅へ副受信機設置して火災があった時に通報する、このシステムが、携帯電話通報に変更を要するというところだったのですが、実はこの評価資料は昨年10月に作成しております、その後予算編成におきましてこのところを再確認しましたところ、既に携帯電話通報に変更済みということでしたので、大変申し訳ありませんが、こちらの現状と課題は解消済みでありますので削除をお願いします。</p>
野尻町長	<p>あといかがですか。</p> <p>(「なし」)</p>
野尻町長	<p>それでは、次の項目をお願いします。</p>
有田次長	<p>それでは、⑤学校教育の充実についての内、3)通学・修学支援の充実について、別紙評価シート22ページ～25ページをご参照下さい。</p> <p>22ページでございますが、スクールバスの運行ということで、現在5路線走っておりますけれど、それぞれスクールバスにつきましては、老朽化の状況に応じて更新をしているところでございます。平成28年度には上陸別についての更新、今回平成31年度に向けては、殖産トラリ線の29人乗りを更新したいということで予算要望をしているところでございます。</p> <p>23ページであります。登下校時の安全対策ということで、登下校時の案線確保や自己防衛意識の高揚を図るということで、これにつきましては平成29年度と平成30年度でCAPプログラム講師派遣を実施しています。これは、子どもたち、教職員、保護者に対して自己防衛意識教育というものを施しています。これによりまして守ってもらうことばかりでなくて自らの身は自ら守るという意識を構築するものであります。</p> <p>現状と課題は地域の見守り活動ということになりますけれども、今も小学校区を</p>

	<p>中心といたしまして各自治体の協力によりまして校区支援ネットワーク事業に取り組んでおります。これは全自治会にご協力いただきまして、通学路中で毎月1日と15日に通学路立っていただき登校時に見守っていただきご協力をいただいております。</p> <p>次に24ページです。ここでは、給食及び食育の推進ということであります。</p> <p>給食につきましては、安全安心な給食の提供、それから地場産品の活用、それから食物アレルギーを持つ子どもたちに対して個別の対応、ここが重要な部分になってくると思っております。地場産品の活用につきましては、なかなか陸別町は地場産品が豊富だという状況ではありませんけれども、近年では町内の酪農家の方たちから肉の寄付があったりとかもあります。</p> <p>食育については、給食日より発行しながら、保護者にも情報提供をしている状況があります。この辺につきましては、給食の安定供給や地場産品の利用拡大に向けた取組をしているところですが、今後の取組の課題としましては、安定した野菜等の確保ということになれば、貯蔵施設でありますとか、停電時の発電設備、この辺も重要な課題と思っております。</p> <p>それからアレルギー対策については、継続ということで毎年でありますけれども、保護者に対しまして子どもたちのアレルギー関係をチェックしまして医療機関を経たものにつきましては、給食センターが個別に相談に応じていながらアレルギー給食を提供しているという状況であります。</p> <p>25ページであります。25ページは修学支援の推進で、高校や専門学校、大学進学者に対する奨学金制度による修学支援を引く続き行いますということで、これは、この平成30年度から制度改正によりまして、高校、大学それぞれ月額を上げておりますので、これによりまして以前より申込者が増えてきているというふうな状況でありますので、これにつきましては継続してこのまま事業を推進していきたいと考えております。以上です。</p>
野尻町長	<p>それでは、これらについて質疑・意見はありませんか。 あとありませんか。 （「なし」）</p>
野尻町長	<p>それでは、次の項目をお願いします。</p>
有田次長	<p>それでは、⑥生涯スポーツの推進についての内、1) スポーツの推進について、別紙評価シート26ページ～29ページをご参照下さい。</p> <p>スポーツの推進ということで、今もスポーツ教室とかスポーツ大会を開催しておりますけれども、これは町民がスポーツに触れる機会の拡大を図るためということですが、26ページの課題としましては、参加者、人口が減少しているということがあるのと、今後の取組としましては、参加者を増やすために募集方法周知方法をもう少し工夫していくことが必要だろうと考えています。</p> <p>27ページです。27ページも同様な部分でありますけれども、町民が気軽に健康・体力づくりを目的に取り組むことができるようなスポーツの振興を図りたいというようなことであります。こちらもカローリング、フロアーリングなど若男女を問わずできる軽スポーツもありますが、特に冬の部分については屋外施設が使えないということで、屋内施設も限定されているという部分で、スポー</p>

	<p>ツに取組環境がまだまだ十分ではないのかと感じているところであります。</p> <p>次28ページであります。28ページでは健康増進を図った保健事業との連携ということでありますけれども、なかなか保健福祉センター側との保健事業との連携がまだまだ十分ではないという部分がありますので、今後とも横のつながりで進めていきたいということで、健康増進を図るという目的意識をひとつをもって実施をしていきたいと思っております。</p> <p>次に29ページです。スポーツ団体の支援ということですが、今現在、大きな組織として自主的活動しているスポーツ少年団と体育連盟に組織している団体があります。こちらについては、スポーツ団体が継続して活動できるように支援して行きたいと思っています。以上です。</p>
野尻町長	<p>それでは、説明が終わりましたが、なにかご意見等はありませんか。</p>
石橋委員	<p>スポーツレク大会について、うちの自治会でもいろいろ話があるけど、種目をやっている人も見ている人も楽しいというか、そういう種目を難しいかもしれないがやってもらえれば、お互いにいいのになという意見があります。</p>
遠藤主任主査	<p>スポーツレク大会に関しては、まず全体スケジュールとしては、実行委員会体制を敷いて内容について協議したり、スポーツ推進委員という団体がありますがその会議のなかでどのような内容にするかという意見を伺って進めているところです。ここ数年、特に種目については、殆ど変更はないです。微調整的なものはありますが、大きくは変わっていません。逆に担当としては毎年同じ内容ですること覚えやすいというか、ころころ変えるとルールを理解するのが、よほど単純であればわかりやすいけど、どこがスタートでどう回るとかというのが、同じ種目を継続することで参加しやすい環境になっているのかなとそういう部分もあるのかと思っています。</p> <p>ただ、内容については、もしそういうチーム単位、町内会単位でご意見があればどうということでもかまわないので出していただければこういう意見も来ていますよと、ここはこう変えたらいいのではないかとか出していただければ検討して活かしていきたいと考えています。</p>
野尻町長	<p>その他あとありませんか。 （「なし」）</p>
野尻町長	<p>それでは、次をお願いします。</p>
有田次長	<p>それでは、⑥生涯スポーツの推進についての内、2) 指導者、指導体制の充実、3) スポーツ施設の充実について、別紙評価シート30ページ～32ページをご参照下さい。</p> <p>まず、30ページですが、生涯スポーツの推進について、指導者、指導体制の充実ということですけど、文化活動も絡むところもありますけど、どこも人口減少で指導体制が充実していかないということで、これについては各種スポーツの指導者体制の発掘育成に務めるということです。実際は厳しいところではありま</p>

	<p>すが継続して発掘していきたいと思っております。ただ、現状と課題にあります が、スポーツ振興基金運用事業がありまして、例えば基本的には個人で持っている 資格は更新時には個人で経費がかかりますが、特にサッカーあたりは毎年毎年 経費がかかります。それぞれ中学校の部活の監督コーチやったり、少年団の監督 コーチやったりとかボランティア的にやってもらっているにもかかわらず個人で 支出しなければならない部分があります。それらについてはスポーツ振興基金を 使いながら全て実費でその辺の審判講習や指導者講習に係る参加経費を助成して おります。これらは継続していきたいと思っております。</p> <p>31ページです。スポーツ施設の充実ということでこれは昨年からの会議で も出ているところではありますけれども、あるものをより活用していかなければ ならないというふうにありますけれども、例えば夏場であれば、ジョギングであ るとかウォーキング、冬場であれば実は密かに結構歩くスキーやっている方がお りますので、この辺についても今後皆さんが使いやすい場所の整備とか確保とか あらためてやっていかなければならないのかなと思っております。ただ過去の例 でいいますと、歩くスキーなどは我々が設定したり、確保した決められたコース はあまり好きでなくて、自分の好きな場所を勝手に滑りたいという意識があって、 この辺ももっといいものができればいいのかなと思っております。</p> <p>それから、現状と課題は、全体的に体育施設は老朽化が進んでおり、これらの 対策につきましては、第6期の総合計画の中で取り組んでいきたいと思ってお ります。当然、財源必要でありますので、その辺の補助金の情報収集を継続して いるところでありますし、特にその中でもプールの建設につきましては、大分、施 設も古くなって来ていて故障も多いということで優先のときには上位に入ってく るのかなと捉えております。</p> <p>次に32ページです。既存のスポーツ施設の有効活用と利便性の向上というこ とであります。ここは、継続して有効活用ができるように必要な助言、指導を 行うことを継続していきたいと考えています。以上です。</p>
野尻町長	<p>いかがでしょうか。質疑・意見はありませんか。</p>
	<p>(「なし」)</p>
野尻町長	<p>それでは、次の項目をお願いします。</p>
有田次長	<p>それでは、⑦芸術・文化活動の推進について、別紙評価シート33ページ～3 5ページをご参照下さい。</p> <p>33ページです。芸術文化活動の充実ということになります。今現在、各種 文化団体、サークルの活動に対して支援をしております。また、各種団体活動の 情報提供も行っております。各団体、自主的に活動していただいているところで ありますけれど、文化祭の継続が町のなかで一番大きな文化活動の事業になっ てきます。こちらにつきましても平成30年度の中では陶芸ボランティアバザール ですとか婦人会ボランティアバザールが中止になったという経緯があります。こ れらが平成31年度以降もこういう形になるのかというのは、もう少し団体と話 し合っていきながら、文化祭の計画についてももう少し実行委員会を中心に工夫 をして行く必要があるのかなと考えているところであります。</p> <p>34ページであります。文化・芸術鑑賞の機会の提供ということでありますけ</p>

	<p>れども、こちらにつきましては、今、陸別町にはふるさと劇場という団体がありますけれども、ここは、町民に高度な芸術の鑑賞の機会を提供すべく目的に活動しているところです。毎年、町から200万円の予算をいただきながら活動しているところでもあります。本来であれば、5千円も6千円もする内容のものが、500円か千円程度の安価で見ることができるということで事業を実施しているところでもあります。今後の取組としましても、町民の芸術鑑賞の機会提供であるとか文化活動による地域活性化のために、このふるさと劇場の支援を継続していきたいと考えております。</p> <p>35ページであります。芸術・文化活動の充実には、文化活動の拠点となる場所が必要になってきますが、陸別町にはタウンホールがありますけれども、今後このタウンホールの利便性の向上であるとか公民館の充実を図っていかねばならないと思っております。どちらも施設が老朽化しているというのはご承知かもしれませんが、タウンホールにつきましては、30年経過しております。平成29年度と平成30年度でホールの椅子や机を更新させていただきました。今後につきましては音響設備や照明設備の交換が必要になってくるということと、ホールの中の気温を一定に保つ、寒くなったから直ぐ暖める、熱いから直ぐ涼しくするということが今の設備では出来ません。温暖化に適應できる空調も必要になってくるのかなと思っております。タウンホールについては引き続き維持管理をしていきたいと思っております。以上です。</p>
野尻町長	<p>それでは、質疑・意見はありませんか。</p> <p>よそからこの陸別町の庁舎に来町される方に外観を見てまだ新しいねと言ってもらいますが、中身は結構ボロボロで、今、説明していただいたように築30年経過して、水回り、あとはその温度管理、いろんな課題はあります。</p> <p>いっぺんにやるには財源もかかりますし、いろいろ今算出しているところなんです。それに限らず今のなかでお気づきのことがあれば出していただきたいと思っております。</p> <p>あとありませんか。</p> <p>(「なし」)</p>
野尻町長	<p>それでは、次の項目をお願いします。</p>
有田次長	<p>それでは、⑧文化財保護の推進について、別紙評価シート36ページ～41ページをご参照下さい。</p> <p>36ページ、文化財の保護であります。開発行為と文化財保護の調整を行うということで、今、うちに大鳥居がありますが、学芸員ということで、いろんな国や道の工事含めて、町内での行為に対して事前にこの辺の開発行為については調査をするというものであります。文化財保護法に基づいて調整をしているということでもあります。町内ばかりでなく、たまに町外から呼び出しがあって応援にいくという状況があります。今後も文化財保護法に基づく協議と調査を実施し、貴重な地域資源である埋蔵文化財の保護に努めていきます。</p> <p>次に37ページにつきましては、こちらは関寛齋に関するものということで、関寛齋資料館を核として関寛齋関係の遺跡整備の充実を図っておりまして、関寛齋翁顕彰会の活動も支援しているということでもあります。今後の取組としては、関</p>

	<p>寛齋資料館の維持管理を継続し、その功績を発信し続けるとともに顕彰活動の支援を継続してまいりたいと考えております。</p> <p>38ページです。史跡ユクエピラチャシ跡の活用ということですが、現状と課題という部分で、このチャシは国指定のチャシであります。これは関寛齋とともに重要な地域資源と捉えているところですが、今後の取組としましては、町民に親しまれる史跡となるよう、見学会や学校の授業等での活用を増やしていきたいと考えております。</p> <p>39ページです。郷土資料の活用ということで、旧中斗満小学校を拠点として郷土資料の整備をやっていました。なかなか完成が延び延びになっていきましたが、やっとこの平成30年度で整備完了にこぎ着けています。中斗満の郷土資料室として開設しておりますので、平成31年度以降につきましては、いろいろな団体等を通して見学会を実施して広く周知広めていきたいと考えているところであります。</p> <p>40ページです。町指定文化財の活用でありますけれども、こちらにつきましては引き続き展示の継続でありますとか、学校での授業や社会教育事業での活用の拡大をしていきたいと考えております。</p> <p>41ページです。文化財・郷土芸能への意識高揚ということですが、これは、今私が申し上げたとおりの中身と同じような内容でありますので割愛させていただきます。</p>
野尻町長	文化財の保護と活用は大変地味ではありますが、とても重要なことであると私も認識しております。皆さんご意見があればお受けしたいと思っております。
西岡委員	<p>たまたま、ユーチューブを見ていたら、ラジオ放送のものがあって、海援隊の武田鉄矢が、昔、陸別で映画を撮りに来たときに関寛齋の石碑を見たらしい。そのあと司馬遼太郎が書いた「胡蝶の夢」の本をたまたま暇なときに読んで、関寛齋のことがすごく気になって、ずうっと読んでいたらこんなすごい人なんだ。あっそう言えば陸別で見たことがある。俺が野糞したところだと回想していた。</p> <p>武田鉄矢に講演してもらってはどうか。そうとう熱く語っていた。</p>
北村主任主査	過去にコンサートで来ていただいています。14、5年前になります。海援隊として来てくれた記憶はあります。
有田次長	確か、当時、海援隊結成何周年記念とかで、通常の半額でしますという時期にちょうどあったという記憶があります。
西岡委員	武田鉄矢は幕末のその辺の時代が大好きだから、それでたまたま関寛齋のことを知って、北海道の斗満というところに入植したという関寛齋のことを言っているなと思ったら、そのうち陸別のことを言い出してびっくりして、一度聞いてみたいと思った。
野尻町長	あとありませんか。
西岡委員	斗満遺跡の大型石器は大きい。

大鳥居主査	大きいです。
西岡委員	縄文人が土着していたということか。
大鳥居主査	<p>実質的には縄文時代の前の旧石器時代の終わりくらいから縄文時代にかけてくらい何ですけど、町内の方はあまり知らないというか、十勝石のほうがよく見かけると思います。全国的には有名な遺跡になっています。ピンポイントにしかない、遺跡が集中してしまっているので見つからないもので、たまたますごい確立で工事に引っかかって見つかったというものです。めったにないことです。</p> <p>当時、工事は遺跡にはあまり影響は及ぼさないということで工事はそのまま継続されましたけど、直径2.5m程度の穴を掘ってそのなかに大型石器をただ突っ込んだだけの遺跡なので、通常の開発行為では見つからないです。ピンポイントで大型石器が埋まっているので、ほぼほぼ見つかるケースが少ないです。ちょうど工事のちょうど端の部分で引っかかったということで全国的には有名な遺跡です。たまに現在公民館に展示してありますが、大学関係者が何回も見に来ています。</p>
西岡委員	縄文時代の前は陸別が大切な拠点だったということか。
大鳥居主査	おっしゃるとおりなんです。置戸に黒曜石の原産地がありまして、そこから近い陸別は、今の十勝で言う、帯広と陸別の立場が逆転しているんです。陸別のほうが都会というか、原産地に近い場所にあたります。
野尻町長	何年前くらいにあたるの。
大鳥居主査	1万2千年前とかそれぐらいの年代です。
西岡委員	日本は大昔、世界的に見ても、5大文明に入る文明をもっていたという。
大鳥居主査	土器に関しては世界最古クラスです。
野尻町長	その他ありますか。 （「なし」）
野尻町長	それでは、次の項目をお願いします。
有田次長	<p>それでは、⑨地域間交流・国際交流の推進、⑩すこやかな青少年の育成、⑪活力ある青年活動の促進について、別紙評価シート42ページ～48ページをご参照下さい。</p> <p>42ページでは、国際交流の推進ということで、前のページでお話している部分と重なります。現状と課題については記載のとおりであります。この中で、予算で要望もしておりますが、カナダに行くとき引率者が、学校の先生、町職員が</p>

毎年行っているところですが、実は年数も経って来て、当時ラコムも町から始めて市になり、当時の方たちが大分入れ替わってきているということもありまして、北村のほうでやりとりはしていますが、連携にちょっとすれ違いが出てきている部分もあります。こちらとしては、引率者が毎年変わるということで、実は添乗員は行っていますが、添乗員はあくまでも観光とかそういう業務だけなので、ラコム市と陸別町の交流に関してはあまり本来的には関わっていかない業務になりますが、そこをお願いしている部分もありますが、添乗員にとっては負担になる部分になりますので、そこは町の責任としてやる必要があるということと、例えば、北村のような教育委員会職員が直接行って、向こうと再度関係を構築して継続してやっていく部分が必要かなということで今回お願いをしております。今後、長く継続している部分については、今一度ここで再度うちの職員が何回か行って新たな継続性を構築していく必要があるのかなというふうに感じております。

43ページでは、健やかな青少年の育成ということで、青少年の育成環境の整備ということでありまして、この部分については主に冒険inとうきょう事業を取り扱っております。毎年小学6年生が、3泊4日で研修ということで行っておりますが、ここで大きいのは毎年参加された先生たち、引率者から言われますが、この事業は東京の電機連合とかエイデル研究所の方達が各班にすうっと張り付けて行動をともにさせていただいております。あの方達がいないとこの事業は無理だと自分達では行動できないと、ものすごくその部分については有り難さを感じております。逆に電機連合やエイデル研究所の方達は陸別にお世話になっているから恩返しをしたいんだということがあります。これは良い関係で成り立っているのかなと感じて、これも今後継続していきたいと感じております。

44ページです。青少年の育成環境の整備ということでありまして、ここについてはなかなか特に充実しているという部分ではありませんけれど、今ある陸別町の学校開放施設であるとか、公民館の施設の充実をもう少し考えながら開放していった多くの人に利用を拡大していきたいと考えております。

45ページです。支援体制の整備ということですが、今、小中一貫教育もありますが、保育所からすうっとほとんど同じクラスのなかで中学校まで行きますが、やはり心配なのは中学校を卒業して高校に行ったときに、いろんな外圧から自分を守るか、社会生活に対応できるかというところで、子どもたちの健全な成長を支援していかなければならないということで、教育委員会としてはジュニアリーダーというものがあります。これは、陸別の子どもばかりでなくてよその子どもも参加して健全な成長の育成を促進しているというものでございます。ちょうど隣の足寄町にネイバル足寄という大変良い施設がありますので、今、参加者がなかなか少ない状況でありますけれども、ここを有効的活用していきながら、参加する子どもが増えるように取り組んでいきたいと感じております。

46ページでは、健全な成長ということでありまして、インターネットなどの情報技術の発展に伴い、子どもたちが有害な情報を目にする機会が増えていくということで、最近便利なものも使い方によっては良くないものもあるということでありまして、この辺につきましては今後の取組ですが、各学校でもこの辺の取組をしているところですが、PTAとも協力して実効的な取組をしていきたいと考えております。

	<p>47ページです。活力ある青少年活動の促進、組織、活動の促進、支援であります。まちづくりに関わる自主的な青年活動への支援ということで、ここは教育委員会としては、現状の課題、今後の取組については、活発な活動とは言えるものではありませんが、ただ、陸別町では、ちょうどしばれフェスティバルが行われるなかで、しばれ作業の取組、これについては、特に青少年、青年達が町づくりに関わる自主的な活動として大変重要な役割を担っているのかなということで、まとまった団体だけでなく、いろんな方達がボランティアとしてこの活動に参加して、例えば教育委員会関係で言えば、学校の先生たちもここへ行っておりました、保護者だけでなく地元の青年達も一緒になりながら地域の活動を身に染みて実感しているというふうな取組で、これについては今後も自主的な活動として支援をしてきたいと感じております。</p> <p>48ページです。青年層が集まる機会の拡大、青年層が集まり、交流を深めるための自主的な活動を支援しますということではありますが、教育委員会のなかでは唯一と言え、成人式の二十歳のお祝いという形になりますが、この特に高校を卒業して徐々に同級生が集まって交流を図られるとうことになりますので、この集まりを軸としてまたふるさと陸別を思いいただいて、今後のそれぞれの活動に活かしていただければいいかなと思っております。以上です。</p> <p>野尻町長 それでは、説明が終わりましたので、これらに関して質疑・意見を出していただきたいと思います。 あとありませんか。 （「なし」）</p> <p>野尻町長 これに限らず、先の方で何か言い忘れたことがあれが出していただいでよろしいですがありませんか。 （「なし」）</p> <p>野尻町長 それでは、今日、出された意見については、それぞれ協議したとおりそれぞれの責任の分野において取り組んでいただきたいと思います。 その他について、事務局の方からはありませんか。 （「なし」）</p> <p>野尻町長 よろしいですか。それでは、これをもちまして、平成30年度第1回陸別町総合教育会議を閉会します。 なお、この総合教育会議は、基本的に不定期の開催となっておりますが、次回については引き続き第6期陸別町総合計画策定について、進行状況を見ながら開催したいと考えております。他の案件についても必要に応じて開催させていただくことにさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
--	--

（終了時間16時10分）